

KAGAWA アンバサダーからのお便り ～依田順子さん～

日米友好のシンボル、ワシントン DC の桜の見頃予定を国立公園局が遅らせたという情報を耳にしました。低温続きの今年の春なのです。

ニューヨーク市内に於ける桜の木の浸透ぶりには目を見張るものがあります。私は、1969年の1月に厳寒のニューヨークに移住してきました。待ちかねていた春が来て、ブルックリンのボタニックガーデンを訪れました。広大なガーデンに整然と植えられた桜を見て喫驚（きっきょう）しました。私の心の中に咲いている栗林公園の桜とは似ても似つかぬ紅色のもこもことした花の塊の集合体でした。私は小声でつぶやいていました。

「まるで造花みたいだ！」

年々桜の季節が来るたびに、日本人とアメリカ人では桜の花の愛し方や好みが違うのではないかと思うようになりました。

日本の桜は、80%がソメイヨシノだそうです。淡く、やさしい色合いのソメイヨシノは、誰からも愛され、日本を象徴する花としての威厳を備えています。

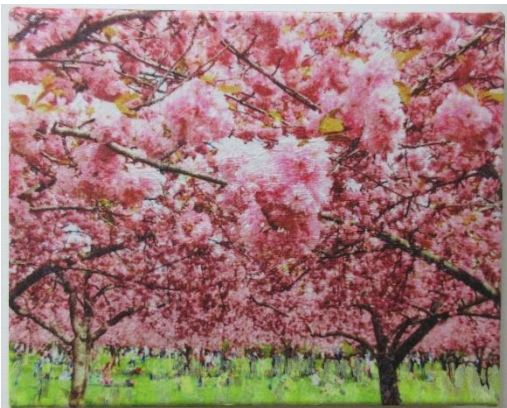
一方、ニューヨークの桜は、その大半が「Kanzan」（カンザン）という品種の八重桜です。

ブルックリンのボタニックガーデン、セントラルパーク、ワシントンスクウェア、国連の庭や、市内の街路樹という街路樹も八重桜の鮮やかなピンクで覆われ、ニューヨーカーの目を楽しませてくれます。

来たる4月29日と30日にはブルックリンのボタニックガーデンにおいて、第36回サクラマツリが開催されます。日本文化を伝える様々な催しが披露され、200本を超える八重桜の下に大勢のニューヨーカーがやって来ます。

しかしながら、桜の木の下に座るのは良いが、カーペットやゴザなどの敷物を広げるのは禁止、飲食もまた同様。通常のボタニックガーデンの規律がサクラマツリのために崩されることはないようです。日本の楽しくて、おいしい桜祭りとはちょっと違うのです。

日本人もアメリカ人も春の短い期間に咲き誇り、美しく散っていく桜の花を愛する気持ちに変わりはないようです。



ボタニックガーデンで撮影した写真をキャンバスにコラージュした作品



依田順子（よだじゅんこ）さん

アーティスト。1969年に移住したニューヨークのほか、東京、パリ、香川などで個展やグループ展を多数開催。2005年、ザ・ポロック・クラズナー・ファウンデーション・グラント受賞。ニューヨーク香川県人会会長。

◇ **KAGAWA アンバサダーについて**

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇ **KAGAWA アンバサダーからのお便りについて**

県民の方々にKAGAWAアンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されているKAGAWAアンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。